



フィールドワーク  
まだまだ震災の傷跡が残る場所や、復興がすすむ地域に足を運び、たくさん学んできました



# 全国ジャンボリー in 福島

## 同仁会Gから 8人参加

# 全国の仲間と学んだ 福島の今と人々の想い

9月24日～26日の3日間、福島県で全国青年ジャンボリーが開催され、大阪民医連全体で32人、同仁会グループから8人が参加しました。「震災と原発事故から6年半たった今の福島をみて、感じてほしい」そんな福島の青年職員の声に、全国と韓国から700人を超える参加者が集まりました。

(同仁会本部総務部 田村 萌)

現地に到着した1日目は、斉藤紀先生（医療生協わたり病院）に講演をしていただきました。放射線被曝の専門家として、震災当時からずっと福島に住む方の健康をみつめ続けていた先生の話は、心に迫るものでした。

2日目は8コースに分かれ、福島県内の各地を訪れました。まだ震災の傷跡が残る場所、復興がすすむ中、新たな問題に悩まされる地域、福島の豊かな自然の感じられる場所。実際に足を運び、お話を聴く中でたくさん学びがありました。

最終日、閉会式ではこのジャンボリーで感じたこと・考えたこと・福島への想いをランタンに託して飛ばしました。ほの明るく光るランタンと一緒に3日間の体験が忘れられないものとなりました。楽しい企画もあり、おいしいご飯も食べ、とても密度の濃い時間でした。たくさん学び、全国に新しい仲間を得て大阪に帰ってきました。参加者それぞれに得てきたものは違うかと思いますが、ぜひ、声をかけて感想を聞いてみてください。

参加者の感想 「エネルギー政策について考えるフィールドワークに参加しました。そこで福島は、豊かな街であると話されていたのが印象に残っています。その

話を聴いて特に印象に残った言葉が「どんな選択をした人も、ずっと悩んできた。どんな選択をしても様々な苦悩が残る。だからこそ選択したことを尊重し、見守り、寄り添ってほしい」という言葉です。私は福島の方々の葛藤を100%理解できなくても、寄り添ってともに考えていきたいです」

豊かさを守るためにも、原発を再稼働させてはならないという思いが伝わりました。今回の経験、得た知識をたくさんの人たちに伝えていきたいです」



みんなの想いをのせたランタン



## 歯科衛生士 募集!

【常勤】月給22万円～  
【パート】時給1,309円～  
前職の経験を考慮し加算します。

5月にリニューアル OPENしました!



●問い合わせ  
社会医療法人 同仁会 耳原歯科診療所  
〒590-0821  
大阪府堺市堺区大仙西町6-184-2  
☎ (072) 245-2912 担当/三宅

## シリーズ 現場からの視点

その30



9月28日、鳳クリニック4F友の会ルームで、きらきら保健介護予防教室が開催されました。鳳クリニック・鳳在宅介護支援センターでは9・10・11月に「シリーズ認知症」というテーマで講座を行います。9月は認知症予防の運動というテーマで、認知症予防運動「コグニサイズ」を参加者の方と行いました。

## きらきら保健介護予防教室

### 認知症予防運動「コグニサイズ」に挑戦

講座には7人の患者さんが参加しスタート。はじめに、認知症につながる危険因子について一緒に学びました。高血圧や糖尿病、運動不足が認知症につながる話をすると、参加された方の中には心当たりがある様子の方も。そして実際にコグニサイズを行います。コグニサイズは国立長寿医療研究センターが開発した認知症予防の運動のことです。頭と身体を同時に動かします。

足踏みをしながら数をかぞえ、3の倍数の時に手をたたくという内容でしたが、最初みなさん簡単にクリア。しかし徐々に難易度は上がっていきます。足の動きを複雑にしたリ、スピードを早くしたりすると、間違えてしまう方もちらほらおられました。しかし何回か繰り返すうちに、みなさん課題をクリアされました。最後は筋力トレーニング。約1時間の内容の大部分で身体を動かして終了しました。

「運動が良いのが良くわかった」「今やっている運動に筋力トレーニングを加えたい」「これからも続けていきたい」等の感想をいただきました。

鳳クリニック・鳳在宅介護支援センターでは認知症だけでなく、様々なテーマについての講座を定期的に開催しています。参加してみたいという方は鳳クリニックまたは鳳在宅介護支援センターにお問い合わせ下さい。多くの参加をお待ちしています。

(耳原鳳クリニック 運動トレーナー 春川智弘)

